

R6開始

くりはらし

栗原市(宮城県)

主な品目

- 水稲



実施体制

栗原市有機農業推進協議会(栗原市、宮城県栗原農業改良普及センター、新みやぎ農業協同組合、栗原市オーガニックヴィレッジ、JA新みやぎ志波姫有機米栽培協議会)

面積情報

有機農業取組面積:35.1ha
耕地面積に占める割合:0.2%
(令和5年度時点)

1 背景・課題

栗原市の有機農業は平成21年度前後をピークに減少傾向にあり、高齢化や担い手不足のほか、有機農業に対する認知度が低いことや、労働力の確保、栽培技術の習得等の課題解決が急務となっている。そこで有機農業の拡大に向けて、令和6年3月に設立した『栗原市有機農業推進協議会』の活動を通じて、有機農業者の人材育成や産地づくり、有機農業への理解促進に取り組む。

2 成果目標

有機農業の取組面積の拡大

R6年度 41.5ha → R11年度 80.0ha

有機農業に取り組む農業者数の増加

R6年度 11経営体 → R11年度 20経営体

3 主な取組内容

生産

- 有機農業の拡大に向けた検討会の開催
- 有機農業に関する講演会の開催
- 有機JAS認証取得経費の支援(今後実施予定)
- 自動除草ロボットを使用した実証試験(今後実施予定)

加工・流通・消費

- 有機米の試食・アンケート調査(講演会開催時に同時開催)
- イベント等での有機農産物のPR(今後実施予定)



有機農業の拡大に向けた検討会



有機農業に関する講演会



有機JAS米のおにぎり試食

4 これまでの成果

有機農業の普及を目的に講演会を開催。

【講演会の開催回数】

R5年度 0回 → R6年度 1回(参加者44名)

5 今後の展望

有機農業に対する認知度の向上や労働力の確保、栽培技術の習得が有機農業の推進における課題となっていることから、就農相談や研修会等の開催による有機農業者の人材育成・確保、市外等でのイベントにおける有機農産物のPR活動など有機農業の理解促進を図りながら、有機栽培面積の拡大と農業者数の増加を目指す。